

新潟市教育委員会 平成30年8月 定例会会議録				
日時	平成30年8月29日(水) 午後3時30分			
場所	白山浦庁舎5号棟3階 教育会議室1			
教育長	前田 秀子			
出席委員 (8名)	佐藤 久栄	出席委員	山倉 茂美	
	沢野 千英子		小野沢 裕子	
	上田 晋三		市嶋 洋介	
	田中 賢一	欠席委員		
	渡邊 節子			
会議出席 教育委員会 事務局職員 (17名)	職・氏名		職・氏名	
	教育次長	高居 和夫	学校支援課長	齋藤 純一
	教育次長	古俣 泰規	生涯学習 センター所長	枝並 素子
	教育総務課長	渡邊 剛	中央公民館長	浅間 直美
	学務課長	高橋 光久	中央図書館長	大井 夫美子
	施設課長	小関 洋	教育総務課 課長補佐	佐藤 夏樹
	保健給食課長	坂井 玲子	教育総務課係長	桑原 勝俊
	地域教育推進 課長	緒方 猛	教育総務課主査	曾我 広人
	学校人事課長	池田 浩		
	教育職員課長	浅間 孝之		
総合教育 センター所長	小川 裕一			
他部署 出席者(0名)				

開会	時刻	午後3時30分
	宣言者	教育長
付議事件 (5件)	議案番号	件名
	議案第17号	平成30年9月議会定例会の議案について
	議案第18号	教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する 点検・評価の議会報告について
	議案第19号	2019年度使用 新潟市立高等学校用 教科用図書採択について
	議案第20号	2019年度使用 新潟市立高志中等教育学校後期課程用 教科用図書採択について
	議案第21号	新潟市立幼稚園再編実施計画について
報告 (3件)	平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について	
	夏季休業日における児童生徒等の健康確保に向けた対応について	
	平成30年度 新潟市奨学生等の選考結果について	

第1 開会宣言

○教育長

(午後3時30分 開会を宣言)

ただ今より、8月の教育委員会定例会を開催いたします。

本日、報道関係者より委員会を撮影及び録音したい旨の申し出がありますが、非公開とされるものを除き、これを許可することにご異議ありませんでしょうか。よろしければ、許可することで決定します。

では、そのように決定します。

会議録署名委員の指名

○教育長

日程第1会議録署名委員の指名を行います。新潟市教育委員会会議規則第11条により、会議録署名委員に市嶋委員及び佐藤委員を指名します。

第2 付議事件

○教育長

日程第2付議事件に入ります。

議案第17号平成30年9月議会定例会の議案については、市議会に議案の公表前であることから非公開にしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。では公開案件の終了後、非公開案件として再開をして審議をします。

次に議案第18号「教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告」について教育総務課から説明をお願いします。

○教育総務課長

教育総務課でございます。

付議の8ページをご覧ください。議案第18号教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価のご報告についてです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定によりまして、毎年事務の管理及び執行状況について点検・評価をもらい、その報告書を議会に提出することが義務づけられております。このたびは、報告書の決定をお願いするものです。

報告書の内容については、7月の協議会でご協議いただいております。その際にご指摘をいただいたご意見を参考に、若干の修正を行ったところです。

はじめに付議15ページをご覧ください。教育委員の活動状況のページですが、○その他の活動・研修・出席、こちらの欄をご覧ください。1行目右側になりますが、公募校長選考検査といった記述がございますが、こちらは公募校長採用試験審査とあったものを、今の記載に改めたものです。

次に付議16ページをご覧ください。3.平成29年度の主な取組と成果の①教育ミーティングの実施の項目の2段落目の文章です。こちらが長文で煩瑣だったものを簡潔なものに、分かりやすいものに改めさせていただきましたのでご覧いただけますでしょうか。

続きまして付議18ページです。⑩子育て支援についての文章の3行

目ですが、親として子どもとどう向き合っていくかとありますが、こちらは、親として子どもとどう付き合っていくかという表現でしたので、それをどう向き合っていくかに改めたものです。

続きまして、Ⅱの新潟市教育ビジョンの施策評価について、付議19ページですが、こちらはいただいたご意見に対する補足説明などもございます。

まず、1平成29年度施策評価一覧の表の中の2-(7)食育の推進、そして付議21ページの中段の1-(6)読書活動の推進と新聞活用の充実の欄ですが、こちらについては評価がそれぞれ低いということでご指摘をいただきました。

食育に関することや新聞を読むことについては、これはいずれも家庭生活に関する比重が大きいということから、施策推進による結果が表れにくいといった主張もありました。平成30年度については、この点を踏まえつつ施策を推進するとともに、現在進めている次期教育ビジョン策定の参考にさせていただきたいと思えます。

続きまして、一つ戻り付議20ページです。下段の表、1-(3)基礎基本を身に付ける教育の推進です。こちらの主な事業の欄に、アフタースクール学習支援事業の記載がありましたが、これを上段の1-(1)社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進の主な事業に記載する方がふさわしいということから、修正しました。

修正等については以上ですが、その他の内容については、前回協議会でお示しした内容と変更はありません。前期と同じ内容になっておりますのでよろしくお願いいたします。

この報告書について、本日の審議を経た後、9月4日から開催予定の9月新潟市議会定例会において報告するとともに、ホームページにも掲載しまして公表する予定としております。

○教育長

ただいまの説明に、ご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いします。特にございませんでしょうか。それでは、議案第18号については承認してよろしいでしょうか。ではそのように決定します。

次に、議案第19号2019年度使用新潟市立高等学校用教科用図書の採択について及び議案第20号2019年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書の採択については、関連がありますので一括して審議いたします。学校支援課から説明をお願いします。

○学校支援課長

議案第19号及び議案20号について、一括してご説明申し上げます。両議案で審議いただく各教科用図書については、4月の教育委員会定例会で承認いただいた2019年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択に関する基本方針及び2019年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択に関する基本方針に基づき、各学校が調査研究をしました。

調査研究では各校が自校の教育課程に照らしながら教科書の内容、

配列,分量,図表,写真,資料の見やすさ等を教科書推薦委員会等で比較検討したうえで,自校の生徒の実態に適したものを校長が教職員の意見を踏まえて選定しました。

教育委員の皆様には,これまで各学校の教育目標を十分御理解いただいたうえで,各学校から出された教科用図書選定一覧に基づいて教科書を丁寧にご覧いただき,内容を把握していただいております。

学校ごとに一括して説明させていただきます。

はじめに,万代高等学校の選定結果についてです。万代高等学校は全日制普通科及び英語理数科,それぞれの学科やコースの目的を踏まえて選定を行いました。選定理由につきましては,付議33ページから37ページをご覧ください。

次に,明鏡高等学校の選定結果です。明鏡高等学校は,定時制普通科の午前部と夜間部,それぞれの目的を踏まえて選定を行いました。選定理由については付議38ページから45ページをご覧ください。

次に,高志中等教育学校後期課程,つまり4年生から6年生用の教科用図書の選定結果です。高志中等教育学校は,中高一貫教育校という特性を踏まえた選定結果になっております。選定理由については付議47ページから50ページをご覧ください。なお,中等教育学校後期課程では,高等学校用教科用図書を使用するため,需要学年については高等学校の学年に合わせてそれぞれ高等学校1,2,3年生用と記載されておりますが,それぞれ中等教育学校の4年,5年,6年生用ということでご理解ください。

それでは議案第19号及び議案第20号について,ご審議よろしくお願いたします。

○教育長

ただいまの説明にご意見,ご質問等ございましたら挙手をお願いします。ご質問等も含めてございませんでしょうか。

○田中委員

感想でもいいでしょうか。

今,課長からもお話がありましたように,それぞれの市立高校の指導方針とか,あるいは学校の特色に応じた教科書が適切に選定されていると感じました。どの市立高校も生徒の実態を適切,的確に把握しておりまして,一人一人の生徒に学習内容が身につくように十分配慮されているなどというふうに感じております。さらに,教科書は私が高校時代に習った教科書と全く違って,皆さん見てお分かりのようにカラー版とか,一人一人の子どもの興味,関心を引き立たせるような,そういう工夫がされておりますし,また,ネットトラブルとか情報モラルを取り扱うなど,今の子どもたちに欠かせない内容が非常にたくさん盛り込まれていると感じました。

○教育長

そのほかにご意見ございませんでしょうか。

○山倉委員

教科書を見た感想でよろしいですか。

いろいろ見させていただいたのですが,万代高校の家庭の専門とい

う教科書を見させていただいたときに、フードデザインということで2分の1が調理実習のことが書いてあったのですが、日本の四季や行事を非常に大切にしているものが載っていると思いました。例えば、春の日常の献立で、若竹汁、たけのご飯、切り身魚のホイル焼きといった、本当に春の材料を使った献立が載っていたり、行事としてはひなまつりの献立ということで、蛤の潮汁、太巻きすし、菜の花のからし和え、さくら餅ということで、日本の四季の行事をとっても大切にしているのが載っており大変良いと思いました。

もう一つ、明鏡高校のコミュニケーション英語 I では、明鏡高校のコンセプトとして非常に生徒に興味、関心をもたせる、分かりやすいということで内容を見ますと、英語の題材が絵本作家のブルーナさんのミッピーを題材にしたり、辻井伸行さん、ピアニストの方を題材にしたりというのが載っていますので、非常に分かりやすい、興味をもちやすいような題材を選んでいただいていると感じました。

○小野沢委員

明鏡高校の教科書を主に見させてもらいました。その中で、商業デザインとかそういったところに、身の回りのものがどのようにできあがっていたのかというのが非常によく分かって、色の組み合わせで商品のイメージができ上がっていくとか、私が高校のときに勉強した覚えのないようなことで、世の中の見方が変わっていくのかなというようなものがたくさん素材として入っていて素晴らしいと思いました。

音楽の教科書も美術の教科書も自宅に1冊置いておきたいと思うような教科書ばかりで、感想になりますが、子どもはもう成人しておりますけれども、高校を卒業するときに参考書も含めて、もう進学が決まった、これいらないと言って、思い切りよく捨てたわけです。あれをなんでとっておかなかったのだろう。あの頃とまた変わっているのだろうと思いますけれども、中学校や高校の教科書は大人になってから読み返すとまたすごく良いものがたくさんあるなと思いました。

英語の教科書でよく言われているのが、英語が話せるようになっても、日本のことを知らないと、それが伝えられないということをよく言われているのですが、英語の教科書の中にもふるしきの説明であったり、寿司の説明などが出てきていて、こういったものを勉強していくと、実践的にも役に立って非常に良いと思いました。

○沢野委員

各教育委員からのお話があったように、本当に各高校の教育理念、目標に合わせてしっかりと選ばれているなと思いました。自分の高校の頃から比べると、かなり多彩な内容、教材だなと思います。

万代高校には書道と美術と音楽の専門の先生がいるとお聞きしており、高校の教育理念、目標など、これらを踏まえた形で音楽と美術と書道のところをしっかりと見させていただいたのですが、本当に内容も多彩で、見た目も分かりやすい、さきほどご指摘もありましたが日本のことをあまり知らずに育っている部分もある中で、美術の教科書などは歌舞伎と

か日本の芸能の中のディテールが内容に盛り込まれていたり、書道なども漢字の美しさ、文化、それを感じさせるような内容であったり、すごくそれに感銘を受けたというか、そういう感性を磨くという部分でもいい教科書が選ばれているのではないかと思います。

○教育長

そのほかにご意見ございませんでしょうか。

委員の皆様からは、各学校が選定した教科書について、それぞれの学校の目標に沿った適切なものが選ばれているという意見でございました。

それでは議案第19号及び第20号については、承認するというところでよろしいでしょうか。ではそのように決定します。

次に、議案第21号、新潟市立幼稚園再編実施計画については、市議会に報告前であることから非公開としたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。それでは公開案件の終了後、非公開案件として再開し、審議いたします。

第3 報告

○教育長

続いて、日程第3報告案件に入ります。

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について、学校支援課から説明をお願いします。

○学校支援課長

はじめに、全国学力・学習状況調査の新潟市の結果、各教科の平均正答率をご覧ください。報告の1ページ。小学校、中学校ともに全教科で全国平均正答率を上回っております。特に小学校は全国平均と比べまして全国を大きく上回っているという状況です。中学校も全国平均を上回っておりますが、国語Aで領域によって若干落ち込むところがありますので、各領域の結果を精査しまして、各学校に指導していきたいと思っております。

続いて、児童生徒質問紙をご覧ください。左側が小学校6年生に対する児童質問紙に対する回答状況、右側が中学3年生にむけての生徒質問紙の回答状況です。◎が全国と比べて3ポイント上回っているもの、黒の三角が全国に比べてマイナスポイントのものです。空欄になるところは、昨年度質問項目がなかったもので今年度からのものです。

最初に申し上げたいのは、本市では授業づくりということで見直しをもたせた学習課題、そして全体のまとめ、個人の振り返りという、授業づくりをやっていますが、もう一つ、家庭学習を頑張ろうということで取り組んでいます。

10番、家で、自分で計画を立てて勉強していますかという問いでは、小学校、中学校とも上昇しております。12番の家で、学校の授業の予習・復習をしていますかという問い、これも小学校、中学校ともに上がっています。中学校の方は全国平均にはまだ届いていませんが、上がっています。

14番の学校の授業時間以外の1日1時間以上勉強、これも着実に上

がっており、小学校は昨年に比べて下がっていますが、全国と比べると上回っておりますし、中学校も上がっております。学校で授業と関連させた家庭学習を、そしてやってきたものをきちんと評価して励ましてくださいということを、各校にお願いしているのですが、その成果が少しずつ出てきた結果と思っております。

22番の地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか、という問いでは、これも大好きにいがた体験活動を各学校が進めており、自分の住んでいる地域を見つめ、地域の中で何ができるかということを考えることに取り組んでおりますが、その成果が出てきた数値と見ております。

昨日話題になったのですが、25番の新聞の購読状況については、やはり家庭で新聞を読む機会が減っているということもあって、なかなか数字が伸び悩んでいるといえますか、学校では国語の中で新聞を取り上げた教育活動など計画しているのですが、家庭での教育という部分もあって、なかなか伸び悩んでいます。

1番と2番はとても重要な質問項目でありまして、自分にはよいところがあるか、そして、先生は、あなたのよいところを認めてくれているかと、これは単純な質問ですが、8割以上の子どもたちが自分にはよいところがあるということで、自己肯定が高くなっておりますし、先生がよいところを認めてくれている、これは1番の間と関係があると思っておりますが、このようになっております。

一方で、中学校では2割近い子が自分にはよいところがあるとなかなか認めきれないとも言えますので、引き続き学校でも励ましていく、その子のよさを認めていくということが必要だと思っております。

以上、簡単ではありますが、結果をご報告させていただきます。

○教育長

ただいまの説明にご意見、ご質問等ございましたら、挙手をお願いします。

田中委員

家庭学習の問題もそうですし、子どもたちの自己肯定感もそうですが、現場の先生方が子どもたちに対してきめ細かく指導していただいている結果だと感じております。

それから20番から24番の問い、地域とのつながりという点で見いきますと、どの項目も昨年よりも数値が上がっております。20番の小学校はほんの少しですが下がっていますが、あとは上がってきており、全国よりも非常に良い結果になっているなどと思っております。

しかし、24番については、昨年も全国よりも低かったのですが、今年も低く、昨年に比べその差は多少縮まってはきているのですが、まだ低いという状況があるわけですが、私、昨年も同じ点について聞いたと思いますが、なぜここだけが下がってしまうのでしょうか。これだけ学社民の融合で地域とのつながりを深めながら、相当、各学校も頑張っているはずなのに、なぜ24番が全国よりも低くなるのか、どうも解せなく

	て、そこをお聞きしたい。
○学校支援課長	ご指摘のとおり、地域行事への参加や、地域への関心など、さきほども申し上げた、地域の中で何ができるかということを考えている子が多い中で、勉強やスポーツという部分で、そのような機会をもう少し意図的にということなのか。確かにここまで低い数値は不思議というか。
○教育長	理由については、分析が困難な状況ということでしょうか。
○田中委員	学校では、放課後ふれあいスクールなどでいろいろやっているわけですが、そのような取組みとこのたびの問いが子どもの意識の中では運動していないのでしょうか。 子どもの意識の中では、勉強を教えるとかスポーツを教える、スポーツ少年団など、そういう意味合いで捉えてしまっていて、実は、本当はもっと地域の人といろいろな繋がりがあるはずなのだけれども、子どもがそういうふうはこの問いでは理解し得ていないということでしょうか。
○学校支援課長	その可能性はあります。
○田中委員	残念だなと思います。せつかく学校も地域も頑張っているのに。
○小野沢委員	子どもの意識では、学校のグラウンドで教わったりすると、「学校や塾・習い事の先生を除く」の中に入れて、除いているのではないのでしょうか。
○学校支援課長	そのような面もあると思います。
○小野沢委員	質問内容というのは全国で統一されているわけですね。算数と理科に関してだけ問いがあるのですね。それは以前よりこのような、算数は積み重ねだったりするとは思うのですけれど、算数、理科に特化しているのは何か理由があるのですか。
○学校支援課長	例年は、国語と算数に関しての問いとなっておりますが、3年に一度、理科に関しての問いがあります。恐らく、質問数が多くなるため、今年度は理科が選ばれて、算数、理科だけというようになっていると思われます。来年は英語に関する問いがある予定です。
○市嶋委員	全国平均より高い結果が多いので、新潟市の子どもはすばらしいと感じたのですが、気になったところが、5番と6番の質問で、ほとんどの子どもが、いじめはどんな理由があってもいけないことだとか、人の役に立つ人間になりたいと思っているということは分かるのですが、100人中3人は何か理由があればいじめが肯定されることになるという回答です。 パーセントは低いですが100人中3人近い子どもがそういう回答をしているというのは、何か理由はあると思いますが、どのようにそういった子どもを把握しているのか、特に5番、6番の質問は100%になっても良いという項目だと思うので、どのように捉えているのか聞かせていただければと思います。
○学校支援課長	私もここはぜひ100%にしたいと思う質問項目です。やはり、裏返すと、2人か3人の子どもは、いじめには理由があれば、または、理由があっても仕方ないことだと、そう思っている子どもがいるのではないかと思われますので、ここに書いてあるとおり、どんな理由があってもいけない

ことだと、繰り返し言い続けたはずなのですが、引き続き繰り返し伝えていきたいと思っております。

6番の人の役に立つ人間になりたいという問いも、もしかすると1番と関係があって、自分に良いところがないとか、自己肯定感が低い子が自信を失い、人の役に立つようになれないと思っているのかと思いますので、その子のよさを認めて、ほめていく必要があると思っております。

○上田委員

このアンケートの▲のついているところは、昨年度も同じ課題としてあがっているところが多いと思うのですが、よく見ると、新潟市だけで見ると前年度に比べて比較的數字が上がっているの、先生方がしっかりとがんばって指導されているのだなと感じました。引き続き取り組んでいただいて、全国平均に達せられるようにしていただきたいと思っております。

○渡邊委員

項目で31番、32番などは、全国平均に比べると新潟のポイントが高いのですが、昨年度と比べると、例えば、32番、普段の生活の中で活用できないかを考えますかは割りと大きく下がっており、31番、あきらめずにいろいろな方法を考えますかもポイントが少し下がっていますが、この辺については、何か分析などがあればお聞きしたいということ、ポイントにかかわらず、意味を感じながら勉強できるといいなと思っております。

○学校支援課長

明確な原因は申し上げられないのですが、各学校でも分析していただいて、いろいろな方法で考える大切さや、一つ解けたからいいのではなくて、いろいろな考えができるなということ促す授業をするとか、今、生活に活かされることが求められるので、算数の勉強は買い物でこのように関係するよというように、普段の生活に結び付けるなど、授業の展開の工夫にもつながってくると思っておりますので、各学校で自校の結果を見たと上で、活かしていきたいと思っております。

○教育長

ほかにはいかがでしょうか。特にございませんでしょうか。この件については以上とします。

次に、夏季休業日における児童生徒等の健康確保に向けた対応について、説明をお願いします。

○学校支援課長

報告4ページをご覧ください。マスコミ等でも話題になりましたが、8月7日に文部科学省から通知ありました。

一つ目に、必要に応じて、夏季における休業日の延長または臨時休業日の設定等を柔軟に検討することという内容です。

二つ目に、本市の対応ですが、通知が8月半ばに来たことや、元々の夏季休業は各学校で決めておりますので、本市で一律、この時点で夏季休業の延長は考えませんでした。次に書いてある、熱中症予防についてもありましたので、今後、気をつけていきたいと思っております。幸い、今週は比較的涼しいのですが、また来週以降、残暑が厳しいことも考えられますので、引き続き、熱中症については各学校に話をしていきたいと思っております。

本市の対応の4番目、紹介になりますが、放課後児童クラブから、各学校内にある放課後児童クラブの冷房の効いた部屋を使っても良いですよと申し出をいただきました。敷地内及び空き教室を放課後児童クラブとして使っている学校が全部で68校あり、まだすべての学校から返事は来ていないのですが、23校がぜひ昼間、冷房の部屋を使いたいという申し出があったと聞いております。

最後、三つ目の陸上記録会についてですが、災害級の暑さがあったため、今年度は教育委員会と共催で行っていることもあり、開催する場合には十分気をつけていただきたいけれども、危ないので中止することも視野にご検討をというお話をし、小体連のほうで中止を決定いたしました。

しかし、記録会を目標に練習を重ねてきた子ども供たちがいるため、今、各学校のほうで今シーズンのベスト記録を記載した記録証を全校集会等で渡し、これまでの努力を称えていくと。これは、自分の努力の成果を知り、自己の成長を一つの自信に変えていただきたいということを小体連のほうから各学校に伝えていただき、今、対応を行っているところ です。

以上、暑さ対策の関係の報告でした。

○教育長

ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、挙手をお願いします。

○市嶋委員

今回、陸上記録会が中止になったということですが、結構ここまで頑張っ て練習してきた子どもが、泣いている子もいたということで、保護者の方からもお話があったりもしました。最後に努力を称えるということは子どもにとっても非常に良いことだと思いますので、これから対応を行っていただきたい と思います。

来年以降、また暑さ対策ということがあると思うのですが、開催時期というのは必ずこの時期しか検討の余地はないものなのか、教えてください。

○学校支援課長

話が戻りますが、大会3日前の練習時に熱中症のような症状や、気分が悪くなった子どもがいたということもあり、子どもたちが練習してきたので何とか実施をという方向を探ったのですが、3,000人規模の大会でしたのでなかなか代替が見つからず、やむを得ずの中止でありました。

現在、小学校体育連盟では学校の先生方が集まっているのですが、小体連と校長会と市教委が入って、来年度どうするかということを検討中です。水泳競技会も含めて、来年度どの時期にどうすればいいかということ を話し合っている最中です。少なくとも今年のように子どもたちが一生懸命練習して、もうここだというときに中止するようなことがないようにということで、時期や開催方法を検討しております

○教育長

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。この件については以上と します。

次に、平成30年度新潟市奨学生等の選考結果について、学務課から説明をお願いします。

○学務課長

報告資料の5ページをご覧ください。平成30年度の新潟市奨学生等の選考結果について、ご報告させていただきます。奨学金の募集期間は例年どおり6月11日から7月11日ということで、約1か月間、実施をしております。資料の1にあるとおり、8月8日に奨学生の選考委員会を開催いたしました。選考委員会では、新潟市奨学生及び社会人奨学生選考基準に基づき、申請者の基準適合の可否等の先行方針についてご説明をし、選考委員によりご意見をいただいたところです。選考方針については、特に意見はございませんでしたが、その他の意見として、貸付終了者のアンケート結果について、利用者の声として制度に反映させていくことという意見がございました。

次に、2の選考結果についてです。(1)の新潟市奨学金では、募集人数合計が101のところ同数の101人から申請がございました。そのうち、大学で1人が基準適合外ということで、結果、奨学生の候補者採用者数ということでは100人という形になりました。選考基準を満たす100人全員を候補者として採用するというにいたしました。なお、校種ごとの内訳につきましては、記載のとおりです。

続きまして、(2)社会人奨学金についてです。募集人員6人のところに1人から申請がございました。基準を満たしており採用ということになりました。

続いて、一番下段に年度別採用状況を参考として記載させていただいております。大学の採用者が前年に比べ減少しているということと、社会人の応募が平成29年、平成30年とも1名ということで少なくなっております。

続きまして、6ページをご覧ください。奨学金制度のさらなる充実を図るため、平成29年度の貸付終了者に対しアンケートを行いました。その結果についての報告となります。平成29年度の貸付終了者は118人で、そのうち114人の方からアンケートの回答がございました。1はアンケート回答者の貸付種別でございます。前回の83人72パーセントが大学生となります。

2番は、新潟市の奨学金制度を何で知ったかということの質問ですが、家族から知ったというのが41人で最も多く、続いて、市のホームページ、在籍の学校で知ったというのが約20人で多くなっております。

3番は、他の奨学金等の併用状況についてです。63人55パーセントの方が日本学生支援機構や県などのほかの奨学金と併用しております。

4番は、貸付終了後の進路についてです。全体の89人78パーセントが貸付終了後に就職している状況です。就職先の主な業種につきましては、医療関係が約29人、次いで製造業10人となっております。就職

先の主な所在地は、新潟市が46人、新潟県内で12人、関東圏が24人ということになっております。

5番は、返済にあたっての心配についてです。回答者の約7割の方が心配なしという結果でした。一方、心配があると回答した内容といたしましては、返済能力の維持、計画的に返済できるのか心配であるということが多くなっております。卒業後に就職が決まらず、求職中との回答も2人からございました。市では、救済策といたしまして、平成28年度より返還の猶予制度を見直しまして、就職が決まるまでの間、最大で3年間の返還を猶予することとしております。

その他の意見の主なものとしては、記載のとおりです。報告は以上です。

○教育長

ただいまの説明にご意見、ご質問等ございましたら、挙手をお願いします。特にございませんでしょうか。ないようですので、以上とします。

第4 次回日程

○教育長

続きまして、次回の日程について、教育総務課からお願いします。

○教育総務課長

次回の日程です。9月につきましては、9月27日(木)午後3時30分から、10月につきましては、10月29日(月)午後3時30分から定例会を予定しています。

第5 定例会一次閉会・公開終了

○教育長

これで公開案件を終了します。これより定例会の非公開案件を審議いたします。傍聴人・報道はご退席ください。

第6 定例会(非公開部分) 付議事件

(非公開案件審議)

議案第17号 平成30年9月議会定例会の議案について → 承認

議案第21号 新潟市立幼稚園再編実施計画について → 承認

第7 定例会閉会

○教育長

以上で定例会を閉会します。

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

署名委員

佐藤 久栄

署名委員

市嶋 洋行